

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

2025年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

(大学院博士後期課程)

1. 氏 名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 _____ 歳 _____ カ月)
(年齢は、2025年4月1日現在で記入のこと)近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。4. 現 住 所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2025年 _____ 月 _____ 日現在)☐理系☐文系

入学年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 入学

所 在 地 〒 (_____) 電話番号 (_____) _____

6. 学 歴

教育機関 の種類	学校名および所在地	修学 年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位 または資格等
高等学校 から	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		

7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで (_____ 年 _____ カ月間)

8. 職 歴

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

日本への入国年月： _____ 年 _____ 月

氏 名	続柄	年齢	職業	年収額	住 所
	父			万円	
	母			万円	

内訳項目	月額	円
	月額	円
	月額	円
	月額	円
	月額	円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2025年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2024年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2025年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたいと申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2025 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

(様式 3-2)-1 記入上の注意:①日本語で自筆のこと②自分の言葉で書いて下さい

(大学院博士後期課程)

大学名： 大学院 研究科 専攻

国 籍

氏 名 _____

留学の目的について

修了後の計画について

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

2025 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

2025 年度

(大 学 院 博 士 後 期 課 程)

学位取得の可能性について

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 ヲ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)

b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)

c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい

必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価

非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい

非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者 (指導教員等)

2025 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

印